

P 1 1

この報告書の情報はどこから来たの？

この報告書の情報は、異なる3つの情報元からのものです。

1 新型コロナウイルス ウェブ研修のシリーズ

- 国際育成会は新型コロナウイルスについての18のウェブ研修を開催しました。
- これらのウェブ研修は、教育・雇用・家族などの様々なトピックに関するものでした。
- 1000人以上の人が、これらのウェブ研修に参加しました。
- ウェブ研修で共有した情報の一部はこの報告書に記載されています。

P 1 2

2 国際育成会連盟会員への新型コロナウイルス調査

- 国際育成会連盟は会員の団体へ、新型コロナウイルスについての調査を行いました。
- 調査は、新型コロナウイルスについて、それぞれの国でどんなことが起こっているのかを尋ねました。
- 48か国の団体が調査に回答しました。

P 1 3

3 障害者の権利モニター

- 7つの団体が1グループになって、コロナに関する調査を実行しました。
- 障害のある人、家族、団体が調査に回答してくれました。
- 知的障害のある人、ダウン症や自閉症の人、又はその家族が、調査で回答した情報が、この報告書に入っています。

P 1 4

新型コロナウイルス禍の間、人々はどのように排除されていたか？

情報の利用しやすさ

- 新型コロナウイルス禍の間、健康や新しい行政の規則について、毎日たくさんの新しい情報が公開されていました。
- この情報は、大抵、読みやすく、分かりやすい、ビデオ等の利用しやすい形式ではありません。
- メキシコの本人：フェルナンダさんはこう言っていました。
「私たちが、何が起きているのかを理解するのを助けてくれるものと新型コロナウイルスに関して、自分と家族の健康を守る方法を理解するのに役立つ手段がまだ不足しています。」
「街中やニュースで、実際に何が起きているのかを説明する図解や案内を見たことがありません。」

P 1 5

- アクセス可能な情報が作成されることもありますが、誰もがそれを見つけるために、使用できる電話やコンピューターを持っているわけではありません。
- 知的障害のある人、ダウン症、自閉症のある人を対象にしたある調査では、10人中3人だけが、新型コロナウイルスについて、十分な情報を得ていると感じていることが分かりました。

P 1 6

行政は何をすべきか？

行政は常に情報を得られやすくする必要があります。これは新型コロナウイルスの情報だけでなく、その他すべての情報に言えます。

これが行政のやるべきことです

1. すべての行政の情報が利用できるようにする必要があります。

行政は情報を分かりやすく、読みやすい言葉やビデオやその他の形式で作成する必要があります。

行政はそれぞれの国でどの形式のものが最適かを、本人達へ尋ねるべきです。

2. サービスを提供する人は、情報を利用しやすくしなければいけません。
行政は他の組織も、自分たちの提供する情報が、利用しやすくする必要があり、という規則を作る必要があります。
3. 本人達と協力して、利用しやすい資料を作成します。
行政は、本人たちが情報を利用しやすくなるように、本人達と協力する必要があります。本人達は、情報提供の仕方を助ける必要があります。また、彼らは、彼らがどのように他者とコミュニケーションするかについて、政府に助言をするべきです。本人達はこの仕事のために報酬を支払われるべきです。

P 17

支援とサービスの利便性

- 知的障害のある人とその家族は、生活の中で様々な支援を利用しています。
- いくつかの例として、パーソナルアシスタント、ピアサポート、意思決定支援、レスパイトサービス、または就労支援があります。
- 新型コロナウイルス禍で、これらのサービスと支援は提供されなくなりました。
- 行政は、いくつかのサービスは利用可能にしておくのに、十分重要であると判断しました。これらは、必要不可欠なサービスと呼ばれています。

P 18

- 必要不可欠なサービスの例は病院です。病院は、新型コロナウイルスの間も開いたままでした。
- いくつかの地域や国では、障害のある人へのサービスは必要不可欠であり、利用することができました。
- 他の地域や国では、障害者へのサービスは必要不可欠では無いと行政が判断しました。
- これは、知的障害のある人が必要な支援を受けられなかったことを意味します。これは、家族も必要な支援を受けられなかったことも意味します。